

キリストは完璧であり、聖霊も完璧である。完璧に答えを受けるように聖霊様も働いている。なぜ、教会が答えを受けられないのか。キリストと聖霊を誤解してるかよく味わえていないからである。そのため、教会に様々な問題がある。四福音書は、福音は何であるのか、書簡所は、聖霊様についてまとめている。キリスト、聖霊を味わうと教会は答えを受ける。

1.ただ福音	2.聖霊	3.伝道者の生活
▲なぜただ福音だけであるのか。 1)ローマ 3:23 (すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、) (1)本来の人間は神の形に造られ問題は無かった。 (2)神様から離れてしまった時から様々な問題。 - 悪魔の奴隷になり、原罪を持って生きている。 (3)ローマ 3:10 (義人はいない。ひとりもない。) (4)ローマ 5:12 - 全人類に罪が広がった (5)自分のこと、人のこと、全世界の事件を心配 - SNS により人間の精神が荒廃→精神病が急増 (6)根本問題を解決することしか道はない。 2)ローマ 3:24 (神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められた) (1)ただキリストだけが罪を贖い赦して下さった。 (2)キリストが悪魔の頭を砕き全ての問題を解決。 (ローマ 5:8、ローマ 5:18) 3)ローマ 1:16-17 (私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。) (1)ただ信仰によって義人とされるようになる。 (2)私達の行いは必要ない - 私達は信じるだけ。 -ローマ 10:9-10 (人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。)	▲聖霊様が与えられてこそ、私たちは信じる事が出来る。 1)ローマ 7:22-24 (それが私の心の律法に対して戦いをいどみ、私を、からだの中にある罪の律法のとりこにしているのを見いだすのです)-人間は肉を持つ為キリストを信じれず葛藤がある 2)いのちの御霊の原理—ローマ 8:2 (キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。) (1)ローマ 8:1(キリストイエスにある者が罪に定められることは決してありません) -福音を信じる者は問題、災いはない - しかし聖徒が味わえない (2)聖霊の内住を忘れ、自分の力でするために苦しくなる。 (3)フィリップ・シュペーナーは祈りながら、ローマ 8 章を通して聖霊の内住を味わえていないことが問題であることを悟る。 —聖霊の内住を認め、主が全てなさることを信じるように。 (4)いのちの御霊の原理 - 救われ永遠に共にいる - 呪い、災い× (5)ローマ 8:3-4 (肉に従って歩まず、御霊に従って歩む私たちの中に、律法の要求が全うされるためなのです。) ・人間の努力では必ず失敗をする - 聖霊様を信じるべき。 3)ローマ 8:9-11 (神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉の中にはなく御霊の中にいるのです。) (1)聖霊様が私の内におられる (I コリ 3:16、ローマ 8:10) - キリストが私の内に生きているので成就される。 - 聖霊様が内住する者は、幸せ、平安、力ある生活を送る。 4)ローマ 8:14 (神の御霊に導かれる人は誰でも神の子ともです) ・聖霊が内住され、私達を神の子として下さる(ローマ 8:15)。 ・聖霊が共におられ全て与えられた—7つの祝福(ローマ 8:32) *サミットタイムを味わう - 聖霊が内住している事を味わう。	▲聖霊の力で伝道者の生活を送るようになる。 1)祭司 - ローマ 12:1 (私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。) (1)祭司の答えを受け、神様の為、聖徒の為に生きれるようになる (2)すべては聖霊の力によってなされる。 (3)ローマ 12:6-8 (私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているので、もしそれが預言であれば、その信仰に応じて預言しなさい。奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教えなさい。) - 聖霊の力で主の務め、使役をするように。 (4)ローマ 13:13-14 (主イエス・キリストを着なさい。肉の欲のために心を用いてはいけません。) - 祭司の務めをするように 2)預言者 - ローマ 10:14-15 (宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。／「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。」) (1)福音を宣べ伝えることができるように。 (2)宣べ伝えることができるように力を与えて下さる。 (3)ローマ 15:23-24 (今は、もうこの地方には私の働くべき所がなくなりましたし、) - ローマの手紙の頃にはローマまで広まっていた(AD57 年) - フィベ、プリスキラ夫妻、エパネトなど伝道の実が結ばれた。 (4)福音を伝える為の力を受けると福音が広まるようになる。 3)王—ローマ 16:20 (平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。) - サタンの国をつぶす。 ▲結論 - 霊的なサミットタイムを持つように。 (1)キリスト、聖霊の内住を味わうように。 (2)SNS する時間、心配する時間を減らしサミットタイムを持つ (3)講壇のメッセージを聞くように(ローマ 10:17) (4)伝道の実が結ばれる。

現場地教会(2019 年 6 月 21 日～2020 年 6 月 28 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「ただ福音と聖霊と伝道者の生活」(ローマ 1:16-17)

【讚美】 259 主の光の使者よ

【祈り】

- ①教会の祈りの課題
・元旦メッセージ:「サタンを踏み砕く」ローマ 16:20、
「次世代を生かす歩みとなる 30 年」ローマ 16:25-27
・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と 5 つの力が与えられるように。
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本 2%福音化(使徒 18:9-10) 12. 世界 237 宣教、宣教師(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	1. 世のどんな方法でも解決できない創 3 章の根本問題を、神の御子キリストが解決してくださり、唯一の救いとなられたことを感謝します。 2. 肉の体質で福音を信じられず葛藤する私のために、聖霊様がいつも共におられ、神様の子供の 7 つの祝福を味わせ、力をくださることを信じます。 3. ただ聖霊様の力によって、恐れに勝つ王の務め・主に仕える祭司の務め・証人となる預言者の務めを成し、実が結ばれる伝道者の生活が出来ますように。
お知らせ	1. 7/22(水)-24(金) 世界宣教大会(福音宣教教会) 2. 8/12(水)-14(金) 世界レムナントリーダー修練会(福音宣教教会) 3. 8/19(水)-21(金) 世界レムナント大会(福音宣教教会) 4. キリスト保育園の園児が 50 名以上集まるようにお祈りをお願いします。 5. 今週から東京教会が始まります。東京教会のためにお祈りをお願いします。
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄 5 丁目 23-8 / tel:052-238-6003 主日(日曜)1 部礼拝 7:00 / 2 部礼拝 10:00 / 3 部礼拝 12:00	